

コード	302020801
記入日	H26.6.4

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	浦田 三喜男

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	社会福祉協議会補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020208	事務事業名称	社会福祉協議会事業費	細目コード	206
関連計画	新上五島町地域福祉計画	法令・条例規則等	社会福祉法、新上五島町社会福祉法人等の助成に関する条例		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 社会福祉法人新上五島町社会福祉協議会 (対象2)	(対象指標1) 1法人 (対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・町民の地域福祉の向上のための活動している社会福祉協議会の法人運営事業に対し、補助を行った。 (主な事業) →社協運営費補助 →心配ごと相談所事業補助 →地域福祉権利擁護事業	***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	予定どおり補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
	・社会福祉協議会が制度本来の地域に暮らす高齢者や障害者、母子家庭等が安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現等という目的に沿って、社会福祉協議会が行う各種の福祉サービスなど様々な活動が円滑に、また、安定的に運営できるよう、その活動費の一部として町が補助金を交付する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 福祉サービス利用者数	***** 103,022人	***** 103.1%	***** 延利用者数÷ 前年度利用者数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	町受託事業、介護保険事業、障害者自立支援事業、その他の地域福祉事業を行い、利用者は前年度より増加した。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	9	9	8	1	1				
	②									
成果指標	① 人	686,664	708,140	605,118	99,000	103,022				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	655,238	655,238	582,224	73,014	73,014				
直接事業費 A	千円	644,038	644,038	572,424	71,614	71,614				
人件費 B	千円	11,200	11,200	9,800	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	1.6	1.6	1.4	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	655,238	655,238	582,224	73,014	73,014			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	高齢化が著しい本町において、サービスが多様化している今日、益々、社会福祉協議会の存在が必要不可欠なものとなっている。町の地域福祉事業と連携している部分も多くあり、今後も共同して事業行っていく必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	高齢化の著しい本町において、益々、社会福祉協議会が行っている各種の福祉サービスなど様々な活動が円滑に、また安定的に運営できるよう、交付している有効な補助金なので、成果は出ている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	事業の性質上、成果を向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	町民の福祉の増進を図るための各種福祉事業を行っていて充分成果は出ている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	社会福祉法に基づき設置された営利を目的としない事業者なので難しい。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	地域福祉の推進を図っていくための中核となる団体であり、今後も引き続き、効率的な組織運営と組織の活性化に努めてもらう必要がある。協議会の事業活動の経費に助成することで、継続的に地域福祉活動が展開されるので、成熟した福祉社会の到来までは、本事業に対して行政による補助の必要がある。ただし、今後は協議会への補助金における人件費等の内容も含め、補助内容の見直しを検討する必要がある。また、補助金以外の自主財源の確保に努めることも必要と考える。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直しして事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直しして事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					このまま事業を継続	●	●		事業内容を見直しして事業を継続				事業費を見直しして事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
				このまま事業を継続																														
	●	●		事業内容を見直しして事業を継続																														
			事業費を見直しして事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。